

# 第9回ふくしまユニバーサルデザインフェア 成功にむけて、ご協力をお願いします！

開催期間：9月28日(金)～30日(日)

会場：ビッグバレットふくしま  
(多目的ホールC)

テーマ：UD夢市・  
思いやりが見える快適生活

## スタッフ募集 !!

UDフェアのお手伝い・協力・支援…

どんな形でも、バックアップ参加をお願いします。

<UDフェア委員会・実務者会議>近藤・今川・小野塚理事まで



昨年のUDフェアの様子

すべての人や環境にやさしい、物・システム・サービスを一堂に会して、ユニバーサルデザインの大切さを社会に発信し、交流します。

### 【出展ブース】

生活／住宅／医療／グループ・団体の4大ゾーンを中心に、「わかりやすい」「体験できる」「便利につながる」ブースを設置します。

### 【出展エリア】

#### ●ホビー・カルチャー エリア

子どもを対象としたホビーコーナー、手芸・手編み・パッチワークなどの作品を展示するカルチャーコーナーなどを設けます。

#### ●飲食エリア

飲食コーナー、UDフード、スローフードの提案、地場産品の展示即売などを行います。

### 【企画イベント】

UDビジネスフォーラム・UDファッションショー（県内デザイン専門学校＋一般企業）・介助犬デモストレーション・UDものづくりコンテスト発表会・ふくしまのUDフード・スローフードの提案・UD音楽祭・UD寸劇・郡山地域テクノポリス推進機構「平成18年度ニーズプル型UD製品開発事業」製品展示《新規事業》

## 第4回定時総会レポート

(報告・千代貞雄)

# 事務局体制の強化と内容の充実、そして、新たなテーマに取り組もう！



4月14日(土)、郡山ビューホテルにおいてNPO法人ふくしまユニバーサルデザイン第4回定時総会を開催しました。会員26人の他、NHK郡山支局長・湯座明彦氏、福島民友新聞郡山総支社長・佐藤喜平氏、(財)郡山地域テクノ

ポリス推進機構常務理事熊田正治氏が来賓として参加しました。

第1部の総会では、平成18年度事業報告及び収支会計報告、平成19年度事業計画及び会計予算(案)、役員改選について、すべて全会一致で承認され、**新理事に青木千代美氏、近藤慎吾氏、専務理事に小野勉氏が選任**されました。

その他<FUD組織と役割>として、会運営の流れと組織図及び理事の役割分担の説明があり、承認されました。基本的には従来どおりですが、今期の重点活動としては、事務局体制の強化と内容の充実、委員会テーマの新たな取り組みに努め、当会のメイン事業UDフェアの成功にむけた全員参加が呼びかけられました。

引き続き、**福島大学副学長小沢喜仁氏講師にお迎えし記念講演を**

開催しました。テーマは、『「ひと支援システムとしてのユニバーサルデザイン」をものづくりの視点から考える』。ものづくりに必要な流れの説明に始まり、製品に必要なものの要素の説明など、一見難しそうな内容もパワーポイントを用い誰にでもわかりやすく、大変聞きやすい内容でした。材料工学における材質の説明もありましたが、「なぜ必要なのか?」「どのように考えていけば良いのか?」という内容は、UDにも当てはめることができ印象深いものでした。

終了後の感想でも可能ならば次回以降の講演も是非お願いしたいとの声もありました。今回の小沢先生の講演は今後の講演会などにおける方向性を示して頂き、全体を通して成功だったと思います。



講演会が好評だったことも手伝って、懇親会も、楽しく円滑に進めることが出来ました。参加した(ほぼ)全員にマイクを回し近況報告などを行い、笑いを誘う場面もありましたが、このようにUDへの思いや日ごろの活動の情報交換を和気あいあいとできた事が大変嬉しかったです。(ご協力有難う御座いました。)最後に全員で写真撮影をするなど、ホテルの方にも大変ご協力頂きました。

# 「ふくしま」のUD 1

学生たちの視点で  
ユニバーサルデザインを掘り下げる

## 福島学院大学 エクリールクラブ

福島学院大学には四年制の福祉学部と、短期大学部の保育科（一部・二部）・情報ビジネス科・食物栄養科、専攻科などがあり、現在、従来の宮代キャンパスと駅前キャンパスで授業を行っています。

サークル「エクリール」の拠点は、昨年4月に開設した駅前キャンパスです。エクリールとは、「描く」という意味のフランス語。7年ほど前、デザインを研究・制作するサークルとして、生活デザイン科（現在は情報ビジネス科に合併）の学生たちが立ち上げました。

「当初は学内の掲示物などの制作をしていたのですが、その後、福祉や保育の学生たちが加わるようになり、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた調査なども行うようになりました」と話すのは、現部長の日向直美さん。ユニバーサルデザインフェアには、平成13年から参加。平成17年には、「都市交通におけるユニバーサルデザイン」をテーマに調査・研究を行い、最優秀賞（県知事賞）を受賞しています。

介護や保育、デザイン制作、手法は違っても、UDが実現する“やさしさ”は、すべてに共通する概念。だからこそ、日向さんは「表現としての作品だけではなく、その裏側にある考え方を大切にしていきたい」と言います。情報ビジネス科学生がもつマーケティング等のスキルも活かし、活動はさらに広がりを見せています。

駅前キャンパス設置にとまかない、地元の商工会議所から街づくりに対する意見を求められる機会もあるというエクリールクラブ。今年9月のUDフェアでは、中心市街地活性化につながるUD、新しいアイデアの提案などを考えてみたいと意欲的です。



指導担当／木村信綱先生

現在、エクリールクラブでは、ユニバーサルデザインを核にして、様々な学科の学生たちが協力して活動しています。

当大学では地域連携を大切にしており、サークル活動においてもNPOのセミナーや講演会への積極的な参加をすすめて、視野と活動の幅を広げています。

エクリール部長／日向直美さん

精神保健福祉士を目指す  
福祉心理学科の3年生です。



県知事賞を受賞した平成17年の展示。パネル展示の他にも、デザイン提案したバスのペーパークラフトや、スタッフのエプロン、Tシャツなどの制作物を展示しました。



あいあい循環

### 福島学院大学駅前キャンパス



商業ビルを改装した「福島駅前キャンパス」は、中心市街地活性化の期待を集めて昨年、開設されました。現在、福祉学部福祉心理学科3・4年生の授業を中心に、短期大学部のサテライトキャンパスとして情報ビジネス科や専攻科保育専攻第二部の授業を行っています。



## 新資格「ユニバーサルデザイン コーディネーター2級」登場！

ユニバーサルデザイン導入に向けた、実践重視の講座です

ユニバーサルデザイン実践のプロフェッショナルを目指す人、組織が継続して学べる場を提供する特定非営利活動法人（内閣府認証）日本ユニバーサルデザイン研究機構では、ユニバーサルデザインを体系的に学べる初めての資格「ユニバーサルコーディネーター2級」を設けました。理論だけでなく、「わかりにくい!」「危ない!」といった不満の声を解決していくひとつの考え方である「UD」を各分野に導入する方法を実践的に学びます。16.5時間の講習のうち、実習が12時間。特に疑似体験とUD導入演習を通じて、受講者の多くが、今までとはまったく違う視点が身についたことを実感するそうです。講習会場は、東京、横浜、長野、名古屋、広島の全国5カ所で、それ以外の地域では、20名以上の受講希望者がいれば個別に開催も可能。詳しくはホームページをご覧ください。

NPO 法人 日本ユニバーサルデザイン研究機構  
<http://www.ud-web.com>  
 TEL : 03-5259-8276

### ■ UD コーディネーター2級とは？

ユニバーサルデザインを体系的に学べる初めての資格。ユニバーサルデザインは、福祉・医療分野だけでなく、製品開発や都市計画、リフォームや店舗設計、そして個人のケアプランやライフプランまでいろいろな分野で活用されています。

### ■ UD コーディネーター2級の程度

専門的な知識とユニバーサルデザイン理論を理解し、ユニバーサルデザインを製品開発、環境・街づくり、店舗設計、個人のライフプラン作成などに導入する段階において、的確にプランニングできる能力を有する。

### ■ 資格取得の条件

学科過程、実技課程を修了し、かつ検定試験に合格する事がユニバーサルデザインコーディネーター2級資格を取得する条件となります。

## 一般色覚者が色弱者の色判別を体験できるメガネ

～ 色弱模擬フィルタ「バリエントール」～

日本人男性では20人に1人いるとされる色覚障がい者。どんな状況でどんな不自由を感じているのか——を理解し推測できるツールが、色弱模擬フィルタ「バリエントール」です。このフィルタをかけて見れば、色覚障がい者と同じ状態であらゆるものを見る事が可能です。印刷物や標識・看板などのサイン、点字ブロックなど、カラーユニバーサルデザインのチェックに役立ちます。

<http://www.variantor.com/jp/>  
 標準希望小売価格▶ 34,500円（税込）  
 開発・製造・販売元▶ 伊藤工学工業(株)  
 ※産学連携プロジェクトにより、豊橋技術科学大学 中内研究室・高知工科大学 篠森研究室と共同研究開発  
 販 売 代 理▶ 大平印刷(株)



### 新会員紹介

#### ■ 正会員

- ① 今泉女子専門学校 様 ————— 郡山
- ② 佐藤 百合 様 (株)フリージア ————— 郡山
- ③ 須藤 淳 様 (株)ベルテックス ————— 郡山
- ④ 伊藤 由美 様 (株)チャイナックス ————— 福島
- ⑤ (株)ヨシダコーポレーション 様 ————— 郡山

#### ■ 賛助会員

- ① 下元 悦子 様 (NEXTAGE) ————— 郡山
- ② 佐藤 晴也 様 (オフィスハレルヤ) ————— 郡山
- ③ 田母神章子 様 (高齢者をよくする女性の会) — 郡山

## UD ビジネスフォーラム (UD フェアのイベント)

### 国交省住宅担当官 楠田幹人氏 内諾あり

元福島県庁男女共生グループのキャリアで、県のUDのスタートを担当した人。現在は、UDの究極の住宅のUDに取り組んでいる。

### 北海道文化放送「石井ちゃんとゆく！」 UD 番組コラボレーション

7年目の北海道UD番組がUDフェアイベント『UDビジネスフォーラム』に出演決定。ディレクターと司会者2名参加で調整中。

## NIKKEI DESIGN 6 (2007)

産業界唯一のデザイン専門誌から

### 色覚障がい者を瞬時にシミュレートするモニター をナノオが発売

プロダクトやインターフェースの領域、またウェブや映像制作の分野では、ユニバーサルデザインを基準としたカラーデザインの重要性が認識されている。色が重要な伝達手段において色覚障がい者がそれらの情報を読み取れずに不便さや不安を感じるケースが増えているからだ。色覚障がい者の見え方を再現する色覚シミュレーションモニター「Flex Scan U」シリーズを「カラーセッション2007」で展示した。

## ユニバーサルデザイン Vo.22

国内唯一のUD専門誌から

### 特集：ライフデザインとUD ツーリズム

移住、ユニバーサルツーリズム、グリーンツーリズム、四国遍路など、人の生き方が多様化するなかで、大きくかわりつつある観光のあり方、人生と旅の新しい関わり方を紹介。

〈UD Universal Design 2007 SPRING〉

## Google ニュースアラートより

### 寝たまま操作 OK 障がい者に優しいキーボード 県と民間で商品化へ

県産業技術総合センター(川口市)は18日、手に障がいがある人にも使いやすい「ユニバーサルデザイン・キーボード」を開発、特許が認められたと発表した。民間企業と県が連携し、盲ろうあ者向けの機能も付け加えた上で、来年4月の商品化を目指す。〈6.19 埼玉新聞〉

### 障がい者7人が“出版社”情報誌発行

筋ジストロフィーの丸山編集長は「初めてづくしで試行錯誤の連続だった」と言う。同センターは将来的に情報誌の広告収入も視野に入れ、さらに読者増も図る。望月代表は「ユニバーサルデザインや障がい者の困っている場所など情報を教えて」と呼びかけている。〈6.19 静岡新聞〉

### 第2回「いい店ひろしま」小売店募集 (広島商工会議所など)

広島商工会議所、広島市などで構成する実行委員会はこのほど、店舗演出、接客、ユニバーサルデザイン対応などの基本的な商業機能が優秀と認められ、地域に根つき親しまれている中小小売店を顕彰する第2回、「いい店ひろしま」の店舗の募集を開始した。〈6.19 日本商工会議所〉

### カラーユニバーサルデザイン展7月7日から

アムラックストヨタは、MEGA WEBのトヨタユニバーサルデザイン・ショウケース(UDS)で、7月7日から9月2日まで、東洋インキ製造とコラボレーション企画展示、「みんなの色・私の色」カラーUD展示をする。今回の展示は、色のユニバーサルに、高齢化に…。

〈CarSensorLab カーセンサー net (press release)〉

## ふくしま型UDネットワーク形成促進事業 事業実施スケジュール

### 地域パートナーシップ連携会議

▶ 8月19日(日) 会場・郡山労働福祉会館

UDを県内(中通り)に浸透させるため、地域が抱える問題を探り、議論し解決する為の会議を開催します。対象者は、UD推進パートナー登録者、パートナー養成講座修了者、一般県民、NPO等の市民団体、企業、行政職員などです。

### UDチェック・ワークショップ

▶ 9月2日(日) 会場・ビッグアイ

UDの視点から地域の現状や課題を抽出するため、実際に街へ出て建築物や交通、サービスなどのソフト・ハードの幅広い分野で評価を行います。また抽出された課題に対し、UDの視点から具体的な解決策を検討するワークショップも開催します。

### UD情報・PR(講座・発表)

▶ 10月7日(日)・8日(月) 会場・ビッグパレット

人権フェスティバル開催時、入場者(一般県民)を対象に3方部のNPO同士がUDPRブースにて連携してUDの取り組みを広く県民へ向けて情報発信すると共に、地域のネットワーク同士が有機的に連携した全県的なUD推進ネットワークの構築に向けたきっかけとします。

### パートナー養成講座

▶ (第1回) 10月13日(土) / (第2回) 10月20日(土) /  
(第3回) 10月27日(土) / (第4回) 11月3日(土)

会場・郡山労働福祉会館

一般県民を対象に20名程度でUDの基礎知識を習得。個人がスキルアップを実現できる活動内容のシステムづくりを念頭に置き、各テーマ担当の講師がUDのこの部分という講座のポジションを意識した内容を目指し今後の参加個人・企業のUD啓蒙・実践活動のきっかけとしていただきます。ワークショップに関しては、受講者が講座運営のノウハウを学べるようなカリキュラムとします。

### ステップアップセミナー

▶ 12月2日(日) 会場・郡山労働福祉会館

パートナー養成講座受講者、ふくしまUD推進パートナー登録者等、一定の知識を有する方を対象に、20名程度で、講演と実践事例のセミナーを開催しより高度な知識や実践に向けたアイデア・ヒントを習得する機会を提供します。